

3 年生が総合研究発表会

多様なテーマ 成果伝える

蘇南高



研究成果を発表する生徒

蘇南高校3年生の「総合研究発表会」がこのほど、同校で行われた。事前の校内発表で選ばれた8人と3グループが、自分で設定したテーマに関する1年間の研究成果を発表した。ニュースポ

ツを考え出したり、立ちを聞き入っていた。体パズルの難易度の表現方法を数学的に考察したりと、多様なテーマがそろった。

上條覚士君（18）と西裏隼君（18）は、学校にたくさんいて閉口しているというカメムシへの対処法を発表した。自作の実験装置で清涼飲料水や灯油、ハブ類などがカメムシを引きつけるか、遠ざけるかを調べた。臭いを出させず効率的に駆除する実験の結果も発表し、生徒が興味深そ

うに聞き入っていた。いずれの発表も、自分で準備した図や映像をスクリーンに映して分かりやすく伝えた。

伝統的な遊戯・蹴鞠（けまり）を応用したニュースポツを考案した中田柊斗君（18）は、最後まで原稿に視線を落とさず聞く人を見ながら発表した。「新しいことを考え、相手に伝えることは難しかった」と振り返りつつ、無事に発表を終えた達成感をにじませていた。

（高石雅也）